

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 彙 報 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

Ⅰ．公開講座 Ⅱ．地域連携事業 Ⅲ．組織・運営体制 Ⅳ．規程等

Ⅰ．公開講座

平成 25 年度より「生涯学習教育研究センター」が「地域連携教育研究センター」へと名称変更された。そのため、平成 26 年度も、地域の公共機関や各種団体との連携の推進をいっそう目指すとともに、学内の他部局との連携・協力体制に努めるとともに、公開講座の実施をつうじて地域社会に対して貢献していくという方針を継承・発展させた。例年、地域との連携を目指して、栃木県教育委員会、宇都宮市教育委員会、財団法人とちぎ生涯学習文化財団の名義後援を得て公開講座を実施しているが、平成 26 年度も、その方針を踏襲した。また、栃木県における生涯学習機会の提供に貢献するという目的で、例年通り公開講座の全てを財団法人とちぎ生涯学習文化財団の「県民カレッジ連携講座」に位置づけた。

公開講座の開催数については、例年どおり 30 講座程度にするという方向で精選したが、若干多めの講座開催数となった。平成 26 年度については、無料講座が 8 講座、有料講座が 27 講座の計 35 講座を実施した。

講座の実施結果のうち受講者数について述べると、講座全体の定員充足率は 138.3%（定員 1181 人に対して受講者総数 1633 人）となり、例年と同様に 100%を超えた。無料講座の定員充足率は 157.8%（定員 580 人に対して受講者総数 973 人）であり、有料講座の定員充足率は 109.8%（定員 601 人に対して受講者総数 660 人）であった。

無料講座では、「アイヌ文化を学ぶ」（316.7%）と「【読売新聞社】“いま”を読み解くチカラ」（296.5%）の定員充足率が際立っている。ただし、後者の読売新聞社との共催公開講座については、5 回連続講座のうち 1 回だけ受講することも許可したので、結果的に募集定員をはるかに超える受講者数を記録した。

また、有料講座の定員充足率も 100%を超えるものが多い。200%を超えた講座としては、「江戸の歴史」（215.0%）、「民俗学からみた栃木」（215.0%）、「生活に生きる臨床心理学」（205.0%）があり、150%以上の充足率を示した講座としても、「文明と世界」（170.0%）、「自然とともに」（170.0%）、「実践!! ファシリテーター養成コース」（153.3%）、「鳥獣管理士養成講座 基礎・応用」（150.0%）が挙げられる。なお、定員充足率が 100%ちょうどのものの中には、定員を厳密に守るために受講制限により受講希望者を断った講座もあり、「韓国料理入門」（100.0%）、「タイ料理入門」（100.0%）、「基礎から学ぶ朗読講座」（100.0%）がそれに該当する。

なお、平成 26 年度の広報活動については、例年通り「宇都宮大学公開講座開催案内」（10000 部作成）を年度初めに刊行し、あわせてポスター（300 枚）を作成して、栃木県内市町や社会教育施設およびシルバー大学校などに配布した。また、例年同様に、年度当初に栃木県教育委員会主催で行われる市町対象の集まりに参加して、センター事業を説明する時間を得るなど、地域社会との連携を密にした広報活動を行った。

	講座数 (講座)	定員 (人)	受講者総数 (人)	充足率 (%)	修了者総数 (人)	受講料総額 (円)
無料講座	8	580	973	157.8	—	0
有料講座	27	601	660	109.8	567	4,475,000
合計	35	1181	1633	138.3	567	4,475,000

※無料講座の受講者は、修了証書を発行していないことから修了者総数に含まれない。

(1) 公開講座の実施概要

平成26年度

No	講 座 名	開設 日数 (日)	総開設 時間数 (時間)	募集 定員 (人)	受講申込者		計 (人)	修了者数 (人)
					男性(人)	女性(人)		
1	【読売新聞社】“いま”を読み解くチカラ	5	10	200	324	269	593	
2	女性の力を企業のちからに	1	2	150			98	
3	基盤教育特別公開講座1.2.3.4.5.6	13	19.5	120	74	31	105	
4	現地で学ぶ「宇都宮学」	3	7.5	20	16	6	22	16
5	図書館の達人	1	2.5	10	6	6	12	
6	アイヌ文化を学ぶ	2	14	30	60	35	95	
7	社会参加支援セミナー	3	6	20	15	5	20	
8	宇都宮城と蓮池	4	12	30	17	11	28	
9	韓国料理入門	4	10	12	0	12	12	12
10	韓国伝統料理	4	10	12	1	10	11	11
11	タイ料理入門	4	10	12	5	7	12	10
12	韓国語講座1.2.3.4	40	80	80	15	48	63	56
13	実践!!ファシリテーター養成コース	15	30	15	12	11	23	16
14	明治42年生まれの四人の作家たち夏期・秋期	10	20	60	11	28	39	32
15	書道1.2	20	30	30	10	17	27	22
16	シャーロック・ホームズの世界に遊ぶ	10	20	20	2	9	11	10
17	日本経済・2014年	5	10	20	15	5	20	16
18	文明と世界	5	10	20	28	6	34	27
19	役に立つ気象学	5	10	20	20	7	27	19
20	江戸の歴史	5	10	20	30	13	43	41
21	生活に生きる臨床心理学	5	10	20	13	28	41	35
22	水と微生物の力で進化する未来型作物栽培	5	10	20	16	0	16	12
23	英語の新知識	5	10	20	6	10	16	15
24	クラシック音楽への招待	5	10	20	23	5	28	25
25	フィットネスウォーキング	10	20	20	2	14	16	4
26	基礎から学ぶ朗読講座	4	10	15	4	11	15	12
27	グリムの昔話と日本の昔話を共に考える	10	20	20	9	11	20	15
28	民俗学からみた栃木	5	10	20	36	7	43	38
29	いのちをいただきます	5	10	15	7	12	19	14
30	里山で楽しむランブリング	4	20	15	6	16	22	18
31	自然とともに	3	10	10	9	8	17	16
32	里山科学入門	5	10	15	8	1	9	7
33	里山の資源と利用	3	10	15	0	0	0	0
34	人間と動物の共生を考える	5	10	15	4	16	20	
35	鳥獣管理士養成講座 基礎・応用	6	30	20	23	7	30	28
合 計		239	523.5	1,161	827	682	1,607	527

※無料講座（現地で学ぶ「宇都宮学」は除く）と「人間と動物の共生を考える」は修了証書を発行しない。
 ※No. 32 里山の資源と利用 は計画だけで実施しなかった。

No	講 座 名	募集 定員 (人)	受講料 (円)	収入見込額 (円)	受講者数 (人)	収入額 (円)	充足率 (%)
1	【読売新聞社】“いま”を読み解くチカラ	200	0	0	593	0	296.5
2	女性の力を企業のちからに	150	0	0	98	0	65.3
3	基盤教育特別公開講座1.2.3.4.5.6	120	0	0	105	0	87.5
4	現地で学ぶ「宇都宮学」	20	0	0	22	0	110.0
5	図書館の達人	10	0	0	12	0	120.0
6	アイヌ文化を学ぶ	30	0	0	95	0	316.7
7	社会参加支援セミナー	20	0	0	20	0	100.0
8	宇都宮城と蓮池	30	0	0	28	0	93.3
9	韓国料理入門	12	5,000	60,000	12	60,000	100.0
10	韓国伝統料理	12	5,000	60,000	11	55,000	91.7
11	タイ料理入門	12	5,000	60,000	12	60,000	100.0
12	韓国語講座1.2.3.4	80	10,000	800,000	63	630,000	78.8
13	実践!!ファシリテーター養成コース	15	15,000	225,000	23	345,000	153.3
14	明治42年生まれ of 四人の作家たち夏期・秋期	60	5,000	300,000	39	195,000	65.0
15	書道1.2	30	10,000	300,000	27	270,000	90.0
16	シャーロック・ホームズの世界に遊ぶ	20	10,000	200,000	11	110,000	55.0
17	日本経済・2014年	20	5,000	100,000	20	100,000	100.0
18	文明と世界	20	5,000	100,000	34	170,000	170.0
19	役に立つ気象学	20	5,000	100,000	27	135,000	135.0
20	江戸の歴史	20	5,000	100,000	43	215,000	215.0
21	生活に生きる臨床心理学	20	5,000	100,000	41	205,000	205.0
22	水と微生物の力で進化する未来型作物栽培	20	5,000	100,000	16	80,000	80.0
23	英語の新知識	20	5,000	100,000	16	80,000	80.0
24	クラシック音楽への招待	20	5,000	100,000	28	140,000	140.0
25	フィットネスウォーキング	20	10,000	200,000	16	160,000	80.0
26	基礎から学ぶ朗読講座	15	5,000	75,000	15	75,000	100.0
27	グリムの昔話と日本の昔話を共に考える	20	10,000	200,000	20	200,000	100.0
28	民俗学からみた栃木	20	5,000	100,000	43	215,000	215.0
29	いのちをいただきます	15	5,000	75,000	19	95,000	126.7
30	里山で楽しむランブリング	15	10,000	150,000	22	220,000	146.7
31	自然とともに	10	5,000	50,000	17	85,000	170.0
32	里山科学入門	15	10,000	150,000	9	90,000	60.0
33	里山の資源と利用	15	5,000	75,000	0	0	0.0
34	人間と動物の共生を考える	15	5,000	75,000	20	100,000	133.3
35	鳥獣管理士養成講座 基礎・応用	20	15,000	300,000	30	450,000	150.0
合 計		1161		4,255,000	1,607	4,540,000	138.4

※無料講座（現地で学ぶ「宇都宮学」は除く）と「人間と動物の共生を考える」は修了証書を発行しない。
 ※No.32 里山の資源と利用 は計画だけで実施しなかった。

(2) プログラムの概要

1. “いま”を読み解くチカラ

ー読売新聞社・宇都宮大学共催公開講座ー

受講者数:593名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	5月24日(土)	13:30～15:30	“国際報道の重層性”を読み解く ー「伝わってくること」と「読み解けること」ー	国際学部 准教授 清水奈々子
2	6月21日(土)		文学的読書”を読み解く ー「世界を読み替える力」の育成をめざしてー	教育学部 教授 鈴木 啓子
3	7月12日(土)		“生き物と環境と遺伝子の関係”を読み解く ー「生きていること」の内側と外側ー	農学部 教授 飯郷 雅之
4	10月11日(土)		“風評被害”を読み解く ー不合理の合理性と、認識の社会的進化ー	教育学部 准教授 小原 一馬
5	10月11日(土)		科学的思考の多面性”を読み解く ー身近なモノ・コトが語る食と農ー	農学部 教授 関本 均

会場: 峰町5号館1223教室

2. 女性の力を企業の力に

ーとちぎ男女共同参画センターとの連携事業ー

受講者数:275名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	8月21日(木)	13:30～15:30	多様な人財とともに拓くとちぎの未来	G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長 橘・フクシマ・咲江

会場: 峰町5号館1223教室

3. 基盤教育特別公開講座

ー基盤教育センターとの連携ー

1. より良く生きる

受講者数:594名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	5月22日(火)	14:30～16:00	夢とやりたいことと、現実と①	工学研究科 准教授 上原 伸夫
2	7月1日(火)		夢を見つける	工学研究科 准教授 大庭 亨

会場: 陽東キャンパス総合教育棟212教室

2. 危機を見つめる力

受講者数:594名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	5月23日(金)	10:30～12:00	身の回りの消費生活における様々な危険	消費者庁消費者安全調査委員会 松岡 猛
2	6月27日(金)		安全問題とヒューマンファクター	日本ヒューマンファクター研究所顧問 教授 垣本由紀子
3	7月4日(金)		危機と安全、安全の定義とリスク	明治大学名誉教授 教授 向殿 政男
4	7月5日(金)		社会安全実現のためのリスクマネジメント	横浜国立大学環境情報研究院教授 准教授 野口 和彦

会場: 峰町5号館ラーニングコモンズ

3. 障害者心理学

受講者数:594名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月19日(木)	10:30～12:00	LDとは	教育学部 教授 梅永 雄二
2	6月26日(木)		ADHDとは	
3	7月3日(木)		ASD(自閉症スペクトラム障害)とは	

会場: 峰町5号館1121教室

4.先輩に学ぶ

受講者数:594名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	7月23日(水)	8:50～10:20	紆余曲折・たどりついた宇大発の新技術「磁気研磨」	宇都宮大学長 進村 武男

会場:峰町4号館1341教室

5.ノーベル化学賞周辺の化学

受講者数:594名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	10月15日(水)	8:50～10:20	「2008年度受賞者 下村 脩教授の業績 オワンクラゲの緑色蛍光タンパク質	農学部 教授 横田 信三

会場:峰町4号館1254教室

6.身近な気象学

受講者数:594名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	1月19日(月)	8:50～10:20	地球温暖化はこうして起こる ～過去の学会論争～	農学部
2	1月26日(月)		地球温暖化で生活や自然界、農業生産はもう変わりつつある	准教授 高橋 行継

会場:峰町1号館3101教室

4. 現地で学ぶ「宇都宮学」

ー宇都宮市文化財ボランティア協議会との共催ー

受講者数:20名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	11月4日(火)	10:00～12:30	二荒山神社と宇都宮城入城	宇都宮市文化財ボランティア協議会 会長 上野 とも子
2	11月11日(火)		宇都宮城ゆかりの寺社めぐり	宇都宮市文化財ボランティア協議会 松下 昭夫 岩淵煦美子
3	11月18日(火)		蒲生薫平ゆかりの地をたずねる	酒井 光一 桜井 実 中里 泰子 坂本 明

5. 図書館の達人

ー付属図書館との共催ー

受講者数:15名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	9月9日(火)	10:00～12:30	図書館に行ってみよう	附属図書館 板橋久夫
2	10月8日(火)			
3	11月12日(火)			

6. アイヌ文化を学ぶ

ー札幌大学との共催ー

受講者数:91名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	11月23日(土)	9:30～16:00	アイヌ民族の歴史と文化 〈第1部〉歌と踊り 〈第2部講義〉 アイヌのくらし展・解説	札幌大学 教授 本田 優子
2	11月24日(日)		アイヌのくらし展・解説	地域連携教育研究センター 教授 廣瀬 隆人

7. 社会参加支援セミナー

ー栃木県保健福祉部高齢者対策課との共催ー

受講者数:39名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	12月1日(月)	10:00～12:00	新しい仲間に出会おう！	地域連携教育研究センター 教授 廣瀬 隆人
2	12月8日(月)		地域社会のルールと掟	
3	12月5日(月)		上手な自己表現を身につけよう！	准教授 佐々木英和

8. 宇都宮城と蓮池 6

—宇都宮城跡蓮池再生検討委員会との共催—

受講者数:32名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	7月20日(日)	13:00～17:00	館林から見た「田中正造」	田中正造記念館副理事長 松本美津枝
2	10月17日(金)		水生植物の保全と管理	農学部 准教授 西尾 孝佳
3			蓮池周辺の自然環境Ⅳ	教育学部 教授 松居 誠一郎
4	10月18日(土)		第12回栃木花蓮写真展作品講評	栃木県写真家協会 理事 大手義雄
5			蓮池から見える「宇都宮仕置」	宇都宮城蓮池再生検討委員会 事務局長 印南 洋造
7	10月19日(日)		宇都宮城主の変遷	教育学部 准教授 高山 慶子

現地研修:7月20日(日)館林方面(参加者23名)

9. 韓国料理入門

—韓国料理を通じて韓国語に触れよう—

受講者数:12名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	5月23日(金)	10:30～13:00	韓国料理の基礎1	教育学部 准教授 大森玲子 韓国料理研究家 金 学英
2	6月6日(金)		韓国料理の基礎2	
3	6月20日(金)		韓国料理の基礎3	
4	7月4日(金)		韓国料理の基礎4	

会場:峰町8号館調理実習室

9. 韓国伝統料理

—行事食から韓国文化への造詣を深める—

受講者数:12名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	9月12日(金)	10:30～13:00	韓国の行事食1	教育学部 准教授 大森玲子 韓国料理研究家 金 学英
2	9月26日(金)		韓国の行事食2	
3	10月10日(金)		韓国の行事食3	
4	10月24日(金)		韓国の行事食4	

会場:峰町8号館調理実習室

10. タイ料理入門

—タイ料理の特徴を知り、食材を親しむ—

受講者数:12名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	5月21日(水)	13:00～15:30	タイ料理の特徴と食材(講義と簡単な実習)	教育学部 准教授 大森玲子 タイ料理研究家 泉田スジンダ
2	6月4日(水)		タイ料理の基礎1(実習)	
3	6月18日(水)		タイ料理の基礎2(実習)	
4	7月2日(水)		タイ料理の基礎3(実習)	

会場:峰町8号館調理実習室

12. 韓国語

①初心者のための韓国語入門コース

－はじめての韓国語－

受講者数:15名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月4日(水)	14:00～16:00	韓国語と文字	国際学部 教授 丁 貴連 国際学部 非常勤講師 金 多希
2	6月11日(水)		基本母音字・基本子音字	
3	6月18日(水)		合成子音字・合成母音字	
4	6月25日(水)		パッチム・連音化	
5	7月2日(水)		いろいろなあいさつ・復習	
6	7月9日(水)		自己紹介-나는 일본 사람입니다.	
7	7月16日(水)		指示代名詞-이것은 무엇입니까?	
8	7月23日(水)		家族-누구의 책임니까?	
9	7月30日(水)		位置-학교는 어디에 있습니까?	
10	8月6日(水)		総まとめ	

②韓国語初級コース

－楽しく身につく韓国語－

受講者数:17名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	8月20日(水)	14:00～16:00	入門コース復習	国際学部 教授 丁 貴連 国際学部 非常勤講師 金 多希
2	8月27日(水)		動詞-무엇을 합니까?	
3	9月3日(水)		方向と場所-어디에 갑니까?	
4	9月10日(水)		形容詞-날씨는 어떻습니까?	
5	9月17日(水)		漢字数詞-오늘은 며칠입니까?	
6	9月24日(水)		固有数詞-한 개에 얼마입니까?	
7	10月1日(水)		敬語-어디에 사십니까?	
8	10月8日(水)		過去形-어제 무엇을 했어요?	
9	10月15日(水)		未来形・意志-이번 주말에 어디에 갑니까?	
10	10月22日(水)		総まとめ	

③韓国語中級コースⅠ

－もっと話せる韓国語－

受講者数:22名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	11月5日(水)	14:00～16:00	初級コース復習	国際学部 教授 丁 貴連 国際学部 非常勤講師 金 多希
2	11月12日(水)		理由	
3	11月19日(水)		希望・願望表現	
4	11月26日(水)		意図・意志	
5	12月3日(水)		連体形	
6	12月10日(水)		経験	
7	12月17日(水)		時間の経過	
8	12月24日(水)		仮定文	
9	1月7日(水)		動作の並行	
10	1月14日(水)		総まとめ	

③韓国語中級コース

－もっと話せる韓国語－

受講者数:22名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	12月4日(水)	14:00～16:00	理由	国際学部 教授 丁 貴連 国際学研究科 博士後期課程 金 多希
2	12月11日(水)		仮定文・連体形	
3	12月18日(水)		予定・意志	
4	12月25日(水)		不規則活用	
5	1月8日(水)		推測	
6	1月15日(水)		可能・不可能	
7	1月22日(水)		希望・願望表現	
8	1月29日(水)		許可と禁止	
9	2月5日(水)		引用・伝聞	
10	2月12日(水)		復習とまとめ	

④韓国語上級コース

－実用韓国語－

受講者数:6名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	5月20日(月)	14:00～16:00	人と出会う、自分・相手について話す	国際学部 教授 丁 貴連 国際学研究科 博士後期課程 崔 寶允
2	5月27日(月)		数字と物のある・なしを言う	
3	6月3日(月)		現在・過去・未来を語る	
4	6月10日(月)		好き嫌い、上手・下手を言う	
5	6月17日(月)		位置関係を言う	
6	6月24日(月)		誘う・提案する	
7	7月1日(月)		最中か終わっているかを表す	
8	7月8日(月)		推測・仮定を表す	
9	7月22日(月)		理由・目的を話す	
10	7月29日(月)		引用	

13. 実践!!ファシリテーター養成コース2013

－基礎から応用までがっちり身につけたい貴方のために－

受講者数:24名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	5月21日(火)	18:30～20:30	ファシリテーションとは何か?	地域連携教育研究センター 准教授 佐々木英和 日本ファシリテーション協会 森 敦子
2	5月28日(火)		コミュニケーションの基本技法	
3	6月4日(火)		ソリューションの基本技法	
4	6月11日(火)		クリエイションの基本技法	
5	6月18日(火)		企画発想力を育成するグループ学習法	
6	6月25日(火)		プレゼンテーションの基本技法	
7	7月2日(火)		自己表現力を鍛えるための応用技法	
8	7月9日(火)		効果的な文章作成のための基本技法	
9	7月16日(火)		雰囲気作りの実践技法	
10	10月8日(火)		広報・PRの基本技法	
11	10月15日(火)		アイディアを出し合う実践技法	
12	10月22日(火)		アイディアをまとめあげていく実践技法	
13	10月29日(火)		「企画づくりから人集めまで」の実務手順	
14	11月5日(火)		「自己表出から他者理解まで」の会議進行	
15	11月12日(火)		ファシリテーターとして活躍するために	

*7/16と10/8の講師及びテーマを交換

④韓国語中級コースⅡ

－もつと話せる韓国語－

受講者数:6名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月2日(月)	14:00～16:00	中級コースⅠの復習	国際学部 教授 丁 貴連 国際学部 非常勤講師 金 多希
2	6月9日(月)		推測:비가 많이 오는 것 같아요	
3	6月16日(月)		状況説明、逆説:감기는 다 나았어요?	
4	6月23日(月)		許可:여기서 사진을 찍어도 돼요?	
5	6月30日(月)		復習及び韓国文化Ⅰ	
6	7月7日(月)		同意、確認:경복궁은 어떻게 가면 되지요?	
7	7月14日(月)		当然な行為、条件:주말에도 학교에 가야 해요?	
8	7月28日(月)		르不規則活用:배가 불러서 더 못 먹겠어요	
9	8月4日(月)		可能:열 시까지 올 수 있어요?	
10	8月11日(月)		復習及び韓国文化Ⅱ	

13. 実践!!ファシリテーター養成コース2014

－自信を持ってファシリテーションを進めたい貴方のために－

受講者数:24名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	5月20日(火)	18:45～20:45	ファシリテーションとは何か?	地域連携教育研究センター 准教授 佐々木英和 NPO法人ファシリテーション協会会員 森 敦子
2	5月27日(火)		コミュニケーションの基本技法	
3	6月3日(火)		ソリューションの基本技法	
4	6月10日(火)		クリエーションの基本技法	
5	6月17日(火)		仲間作りも進んでいくグループ学習法	
6	6月24日(火)		プレゼンテーションの基本技法	
7	7月1日(火)		自己表現力を鍛えるための応用技法	
8	7月8日(火)		効果的な文章作成のための基本技法	
9	7月15日(火)		効果的な広報・PRの基本技法	
10	7月22日(火)		雰囲気作りの実践技法	
11	10月7日(火)		アイディアを出し合う実践技法	
12	10月14日(火)		アイディアをまとめあげていく実践技法	
13	10月21日(火)		「企画づくりから人集めまで」の実務手順	
14	10月28日(火)		「自己表出から他者理解まで」の会議進行	
15	11月4日(火)		ファシリテーターとして活躍するために	

14. 明治42年生まれの四人の作家たち

－夏期－

受講者数:22名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月5日(木)	10:00～12:00	中島敦(1909－42)山月記・李陵・光と風と夢	名誉教授 小池清治
2	6月12日(木)		太宰治(1909－48)晩年・人間失格・思ひ出	
3	6月19日(木)		走れメロス・富嶽百景・トカトントン	
4	6月26日(木)		姓徒・斜陽・雀こ・満願	
5	7月3日(木)		ヴィヨンの妻・桜桃・津軽	

－秋期－

受講者数:27名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	10月2日(木)	10:00～12:00	大岡昇平(1909－88)俘虜記・野火・レイテ戦記・武蔵野夫人	名誉教授 小池清治
2	10月9日(木)		松本清張(1909－92)西郷札・或る小倉日記伝	
3	10月16日(木)		啾啾吟・菊枕・断碑・真贋の森	
4	10月23日(木)		父系の指・張込み・顔・天城越え	
5	10月30日(木)		点と線・ゼロの焦点・砂の器・日本の黒い霧神々の乱心	

15. 書道

①【大人のお習字】

受講者数:13名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月5日(水)	18:10～19:40	書道とは何か?その歴史について	中島宗皓 (教育学部 教授 中島 望)
2	6月12日(水)		正しい「ひらがな」を書いてみる	
3	6月19日(水)		正しい「楷書体」を書いてみる	
4	6月26日(水)		正しい「行書体」を書いてみる	
5	7月3日(水)		古典の学習「篆書体・隸書体」	
6	7月10日(水)		古典の学習「楷書体・行書体」	
7	7月17日(水)		古典の学習「草書体・かな」	
8	7月24日(水)		現代文を書いてみる	

会場: 峰町6号館A棟書道教室

②【制作の時間】

受講者数:13名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	10月2日(水)	18:10～19:40	個別テーマによる臨書、または作品制作①	中島宗皓 (教育学部 教授 中島 望)
2	10月9日(水)		個別テーマによる臨書、または作品制作②	
3	10月23日(水)		個別テーマによる臨書、または作品制作③	
4	10月30日(水)		個別テーマによる臨書、または作品制作④	
5	11月6日(水)		個別テーマによる臨書、または作品制作⑤	
6	11月13日(水)		個別テーマによる臨書、または作品制作⑥	
7	11月20日(水)		個別テーマによる臨書、または作品制作⑦	
8	12月4日(水)		個別テーマによる臨書、または作品制作⑧	
9	12月11日(水)		個別テーマによる臨書、または作品制作⑨	
10	12月18日(水)		個別テーマによる臨書、または作品制作⑩	
11	12月25日(水)		講評会(学書展作品選別)	
12	2月5日(水)		宇都宮大学学生書道展(宇大学書展)	

会場: 峰町6号館A棟書道教室

16. シャーロック・ホームズの世界に遊ぶ

ー「緋色の研究」と「ボヘミアの醜聞」を通してー

受講者数:40名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月5日(木)	13:30～15:30	「マスグレーブ家の儀式」その1	名誉教授 大関清太
2	6月12日(木)		「マスグレーブ家の儀式」その2	
3	6月19日(木)		短編小説の楽しみ方	名誉教授 高際澄雄
4	6月26日(木)		「ボヘミアの醜聞」その1	
5	7月3日(木)		「ボヘミアの醜聞」その2	工学部准教授 寄川弘玄
6	10月2日(木)		ポーと Doyle	
7	10月9日(木)		ホームズの能力	作家 飯島一次
8	10月16日(木)		シャーロックホームズのユーモア	
9	10月23日(木)		英文学における Doyle	
10	10月30日(木)		「緋色の研究」「緋色の習作」正解は	

17. 日本経済・2014年

ー景気／働くこと・暮らし／社会保障などー

受講者数:18名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月3日(火)	10:00～12:00	2014年・日本経済の現状	名誉教授 吉田 紘
2	6月10日(火)		経済のグローバル化と日本経済	
3	6月17日(火)		日本の雇用と格差問題	
4	6月24日(火)		暮らしはどうなる	
5	7月1日(火)		社会保障制度の曲がり角	

18. 文明と世界

－人間と文化そして世界－

受講者数:40名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	10月3日(金)	15:00～17:00	文明と人間	元国際学部客員教授 神長善次
2	10月10日(金)		文明病と人間	
3	10月17日(金)		文明と発展	
4	10月24日(金)		日本文明論	
5	10月31日(金)		日本と世界	

19. 役に立つ気象学

－実生活にすぐ活用できる役立つ気象学－

受講者数:28名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	1月26日(月)	18:45～20:45	四季の気象(春)	農学部 准教授 高橋行継
2	2月2日(月)		四季の気象(夏)	
3	2月9日(月)		四季の気象(秋)	
4	2月16日(月)		四季の気象(冬)	
5	2月23日(月)		気象災害	

20. 江戸の歴史

受講者数:24名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月24日(火)	10:00～12:00	江戸時代の制度と仕組み	教育学部 准教授 高山慶子
2	7月1日(火)		江戸城①	
3	7月8日(火)		江戸城②	
4	7月22日(火)		大名藩邸①	
5	7月29日(火)		大名藩邸②	

21. 生活に生きる臨床心理学

受講者数:40名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	7月1日(火)	10:00～12:00	ストレスとどのようにつきあうか?	教育学部 准教授 白石智子
2	7月8日(火)		対人関係をどのように見るか?	
3	7月15日(火)		自分で自分をコントロールできるか?	
4	7月22日(火)		日常にいかす心理療法の理論と技法(1)	
5	7月29日(火)		日常にいかす心理療法の理論と技法(2)	

22. 水と微生物の力で進化する未来型作物栽培

受講者数:40名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	10月16日(木)	17:50～19:50	土壌水の性状・機能とその循環、浸水栽培の原理	農学部 准教授 福井 糧 (有)T&Tナースリー代表取締役 手塚博志
2	10月30日(木)		土壌の通気と土壌気象	
3	11月13日(木)		土壌の物理性／理化学性	
4	11月27日(木)		土壌中における無機肥料成分の特性・機能	
5	12月11日(木)		ディスカッション／愛華農法の特性とその実践	

23. 英語の新知識

－英語教育に役立つ英語学の知見を求めて－

受講者数:40名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	8月30日(土)	13:30～15:30	英語学の分野、参考図書	名誉教授 浅野一郎
2	9月6日(土)		音声学・音韻論から	
3	9月13日(土)		文法と意味	
4	9月20日(土)		文法(統語論)の規則	
5	9月27日(土)		言語学と脳科学	

24. クラシック音楽への招待

ーオーケストラ音楽の楽しみ方ー

受講者数:40名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	8月11日(月)	19:00～21:00	楽器紹介(木管楽器)、オーケストラの基礎知識	農学部 准教授 浅野一郎 栃木県交響楽団 萩町 修
2	8月18日(月)		楽器紹介(金管楽器)、演奏会を開く(1)	
3	8月25日(月)		楽器紹介(弦楽器)、演奏会を開く(2)	
4	8月26日(火)		オーケストラの楽しみ方(1)	
5	8月27日(水)		オーケストラの楽しみ方(2)	

25. フィットネスウォーキング

ー楽しい健康・好縁づくりー

受講者数:15名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月14日(土)	14:00～16:00	効果的な運動方法とストレッチ	ヨガインストラクター 遠藤綾乃
2	7月12日(土)		ヨガの応用ウォーキングヨガ(学科)	
3	8月9日(土)		ウォーキングヨガ実践編	
4	9月13日(土)		2本杖ウォーキング基礎と実践	ポールウォーキングコーチ 山形正巳
5	10月11日(土)		ポールウォーキングの運動機能改善	
6	11月8日(土)		ウォーキング障害の予防と処置・実践	
7	12月13日(土)		ウォーキング後ヨガで体ケア	理学療法士 秋田聖司
8	1月10日(土)		ウォーキングを楽しむためのヨガ	
9	2月14日(土)		ウォーキング地域活動と健康作り	
10	2月28日(土)		膝・腰の痛みを予防する運動とケア方法	

26. 基礎から学ぶ朗読講座

ー心と心をつなぐ朗読ー

受講者数:10名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	7月5日(土)	14:00～16:30	声の仕組みと発声について	朗読家・和洋女子大学・ 東京アナウンス学院演劇 講師 秋元紀子
2	7月26日(土)		読解力と表現力について	
3	8月2日(土)		伝える意識と間について	
4	8月23日(土)		朗読の発表・講師朗読	

27. グリムの昔話と日本の昔話を共に考える

ー故郷を考えるー

受講者数:15名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	10月8日(水)	13:30～15:30	昔話とは何か。グリム昔話の目指したもの	名誉教授 橋本 孝
2	10月15日(水)		栃木県の民話	
3	10月22日(水)		花巻と宮澤賢治	
4	10月29日(水)		宮澤賢治の童話	
5	11月5日(水)		賢治にとって自然とは	
6	1月12日(水)		遠野市と佐々木喜善	
7	1月21日(水)		佐々木喜善とグリム童話	
8	1月28日(水)		佐々木喜善の昔話	
9	2月4日(水)		柳田国男の業績	
10	2月18日(水)		民話と故郷	

28. 民俗学からみた栃木Ⅴ

－信仰にみる下野人の心と暮らし－

受講者数:31名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	9月4日(木)	13:30～15:30	お地蔵様は、なぜムラの外れに祀られるのか	栃木くらし文化研究所代表 栃木県立博物館名誉学芸員 柏村祐司
2	9月11日(木)		庚申の夜は、寝ないで過ごす ～庚申様の由来と様々な風習～	
3	9月18日(木)		十九夜様に託した女たちの願い ～子授け・安産・子育て信仰～	
4	9月25日(木)		一生に一度はしたいお伊勢参り ～伊勢道中日記から～	
5	10月2日(木)		男体山は心のふるさと ～男体山登拝いま・むかし～	

29. いのちをいただきます

－食と農の視点で、食卓から健康までを考える－

受講者数:21名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	8月2日(土)	13:30～15:30	畑の放射能汚染と対策	宇都宮大学認定 食農ファシリテーター 和久井隆 鈴木知子
2	9月6日(土)		大きいことは良いことか？	
3	10月4日(土)		困難に打ち勝つ力	
4	11月1日(土)		あなたの体質は？	
5	12月6日(土)		自然の力・信じる力	

30. 里山で楽しむランブリング

－ぶらぶら歩きながら茂木の里山を撮り食べ語りあおう－

受講者数:10名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	5月31日(土)	9:00～14:00	新茶摘み・新茶づくりと春の里山散策	農学部附属里山科学センター 平井雅世
2	7月21日(土)		ピザ焼き・苔玉づくりと夏の里山散策	農学部 教授 大久保達弘 農学部 准教授 原田 淳
3	11月15日(土)		ゆず狩り・ゆず味噌づくりと秋の里山散策	たかばたけグリーンツーリズム協議会 虹色の里あじ彩協議会 ゆずの里かおり村
4	12月13日(土)		「私の里山」フォトコンテスト	

31. 自然とともに

宇都宮里山達人協会との共催

受講者数:28名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	9月24日(水)	19:00～21:00	自然の中で遊ぶ術を知ろう	宇都宮里山遊び達人協会会長 和氣博之
2	9月28日(日)	9:30～13:30	実りの秋を体験しよう	
3	11月30日(日)		冬を楽しもう	

32. 里山科学入門

－里山の地域資源と人びとの暮らし－

受講者数:21名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	10月 1日(水)	10:00～12:00	里山の成り立ちと地域資源	地域連携教育研究センター 教授 廣瀬隆人 准教授 高橋俊守
2	10月 8日(水)		里山の恵みと人々の暮らし	
3	10月15日(水)		里山の課題と対応の現状	
4	10月22日(水)		里山の地域資源活用の展望	
5	10月29日(水)		地域連携による里山の再生	

33. 里山の資源と利用

ー里山で育てる野菜と野生きのこー

受講者数:28名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	8月 1日(金)	10:00～12:00	里山の地域資源と利用	地域連携教育研究センター 准教授 高橋俊守 農学博士 横田 一郎
2	8月 8日(金)	9:00～13:00	里山で見つける育てるおいしい作物	
3	10月10日(金)		里山で見つける育てるおいしい野生きのこ	

※開講中止

34. 人間と動物の共生を考える

公益社団法人 日本動物福祉協会栃木支部との共催

受講者数:10名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月 7日(土)	13:30～15:30	動物が持つパワーを探る	教育学部准教授 川島芳昭 獣医師 増田国充 日本動物福祉協会獣医師調査員
2	6月14日(土)		動物福祉活動について	山口千津子 弁護士・ペット法学会会員 細川敦史
3	7月12日(土)	10:30～12:30	動物愛護法改正について 栃木県における動物の現状	朝日新聞メディアラボ主査 太田匡彦 日本動物福祉協会栃木支部長
4	7月12日(土)	13:30～15:30	動物専門家による何でもフォーラム	川崎亜希子 三東CS&With代表 館山和枝 地域連携教育研究センター
5	7月26日(土)	10:30～12:30	人間と動物の共生を目指した活動 ワークショップ 「人間と動物が共生できる地域づくり」	特任研究員 英理佳 宇都宮市保健所職員 栃木県動物愛護指導センター職員

35. ①鳥獣管理士養成講座

ー鳥獣管理の基礎ー

受講者数:38名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	6月 7日(土)	10:00～17:00	野生鳥獣管理の基本	雑草と里山の科学教育研究センター 教授 小金澤正昭
2			自治体による鳥獣対策の現状と課題	地域連携教育研究センター 准教授 高橋俊守
3			鳥獣管理と地域連携	鳥獣管理技術協会理事 辻岡幹夫
4	6月14日(土)		鳥獣被害の現場(学外)	鳥獣管理士 高橋則夫

35. ②鳥獣管理士養成講座

－鳥獣管理の応用－

受講者数:38名

回数	期 日	時 間	テ ー マ	講 師
1	8月23日(土)	10:00～17:00	野生鳥獣管理の基本	雑草と里山の科学教育研究センター
2	8月30日(土)		自治体による鳥獣対策の現状と課題	教授 小金澤正昭 長岡技術科学大学
3			鳥獣管理と地域連携	准教授 山本麻希 新潟大学農学部
4			鳥獣被害の現場(学外)	助教 望月翔太 中央農業総合センター
5	9月20日(土)		野生鳥獣管理の基本	上席研究員 仲谷 淳 日本獣医生命科学大学
6	9月27日(土)		自治体による鳥獣対策の現状と課題	教授 羽山伸一 鳥獣管理士
7			鳥獣管理と地域連携	高橋則夫 鳥獣管理士
8			鳥獣被害の現場(学外)	阪本勝憲

(3) 外部組織・機関・団体との連携による公開講座

地域連携教育研究センターの前身の生涯学習教育研究センターでは、平成3年度に開設されて以来、地域社会との連携を念頭に置いて事業を進めてきた。そのため、公開講座を企画・実施する際に、地域の行政機関、市民団体、NPOなどの団体との連携・協力による事業展開を進めてきた。この方針については、平成25年度以降は、本センターが「地域連携」という表現を冠する組織となったことにより、公開講座を開設する際には、個人に講師を依頼するだけでなく、団体そのものの協力を得て企画運営する事業を意図的に企画したものとして展開している。

平成26年度の新聞社との連携としては、平成25年度の公開講座「“未来学”へのチャレンジ」に引き続き、公開講座「“いま”を読み解くチカラ」

を読売新聞宇都宮支局と共催した。栃木県との連携としては、とちぎ男女共同参画センターとの共催による公開講座「女性の力を企業の力に」や、栃木県保健福祉部高齢対策課との共催による公開講座「社会参加支援セミナー」を実施した。栃木県外の組織とは、札幌大学と連携する形で「アイヌ文化を学ぶ」を開催した。他にも、学外の各種機関や団体との連携としては、宇都宮市文化財ボランティア協議会、宇都宮城跡蓮池再生検討委員会などの地元の団体と協力して公開講座を開催した。

なお、学内連携としては、基盤教育センター、附属図書館、農学部附属里山科学センターなどと協働した公開講座を開催した。

平成26年度

公開講座番号	講座名	外部組織・機関・団体名
1	“いま”を読み解くチカラ	読売新聞社 宇都宮支局
2	女性の力を企業の力に！	とちぎ男女共同参画センター
3	基盤教育特別公開講座	基盤教育センター
4	現地で学ぶ「宇都宮学」	宇都宮市文化財ボランティア協議会
5	図書館の達人	附属図書館
6	アイヌ文化を学ぶ	札幌大学
7	社会参加支援セミナー	栃木県保健福祉部高齢対策課
8	宇都宮城と蓮池	宇都宮城跡蓮池再生検討委員会
13	実践！！ファシリテーター養成コース 2014	NPO 法人日本ファシリテーション協会
30	里山で楽しむランブリング	雑草と里山の科学教育研究センター
31	自然とともに	宇都宮里山遊び達人協会
34	人間と動物の共生を考える	公益財団法人日本動物福祉協会栃木支部
35	鳥獣管理士養成講座	一般社団法人鳥獣管理技術協会